

能登半島地震を経験したサプライヤーの影

◎藤井 寛之¹⁾
株式会社片岡¹⁾

供給を維持するためには

「私どもサプライヤーの所在地である金沢市で震災が起きた場合の対応策は？」

誰が現地に運ぶのか？卸連合会のフォロー体制、石川で起きた場合は福井、富山の卸が出向いて現地に供給できるのか？

検査試薬の在庫確保、各会社、病院様もある程度は在庫を持っておりませんが、メーカーの供給が出来なくなった場合の、「止めない物流」を実現させなければいけません。その為に各施設での在庫保有したほうが良いのか？また通常とは違う運送確保（自衛隊、ドローン供給）を各自治体と連携していかなければいけないのでは？

本講演では、私達が能登半島地震を経て気付いたこと、ご提案をし、皆さんと災害時の医療について考えていきたいと思えます。